

平成 22 年度総括

学育事業部

事業部長:岩岡光太郎

<事業部使命>

自分らしい生き方を見つけることのできる居場所の創造
～STAGE(場所創り)・CHANCE(時創り)・LINK(人創り)～

<特に力を入れたこと>

- ・施設長と事業本部との密接なコンタクト(報告・連絡・相談)
- ・各種刊行物・発行物の添削・アドバイス
- ・交換研修(事業部内の他施設での実習)の実施

<その理由>

・私たちの事業部では「放課後の子どもたちの指導・育成と価値ある居場所の創造を目指す」という運営上の視点はどの事業所も一致しています。しかし、施設が各地に点在し、沿革、規模、環境、運営形態、利用者(児童・保護者)の要望や願い、連携が不可欠な学校や行政側の考え方等がそれぞれに異なり、また、任務に当たる職員も、勤務体制の他、スキル、価値観、経験等も個々によって様々な為、ともすると「施設任せ」の状態になり、各施設の運営は日々遂行されるものの、本部と施設または施設間での連携や状況の把握・共有が十分でない為に少なからず【事業部グループ】としての特色を生かし切れない(または発揮できていない)という状況が生まれていました。そこで、まずはお互いの『連携作り』が必要であると考え、また、同時に「我々はひまわり福祉会のスタッフであり、放課後のプロフェッショナルである」という自覚や誇りも持って職務に当たって頂きたいという思いもあり、その手始めとして上記のことに取り組むことに致しました。

<その結果>

・電話やメールによる報告・相談や、各種会議の実施、交換研修や面談などを通じて、出来るだけ情報や思いを共有することを心掛けたことで、少しずつ互いの協力関係や信頼関係が築かれつつあり、職員の意識の向上も見られてきたように感じています。しかし、これはまだ途上であり、施設によっても成熟度に差があることは否めません。また、これらの取り組みについても、常に計画的・継続的に進められているものばかりとは言えず、事業部全体としての方向性が明確になり、施設間の連携や職員の意識化が十分に図れるようになるまでには、まだかなりの時間を要すると考えています。